

1 災害のリスクを知ろう

自宅や学校、勤務先などにどのような危険があるのか平時から調べておくことが、防災において重要です。町が作成した各種ハザードマップ等を参考に、自宅などの災害リスクを調べましょう。



▲鳩山町洪水・土砂災害ハザードマップ



洪水浸水想定区域図

洪水浸水想定区域図は、越辺川や鳩川が氾濫した場合に浸水被害の可能性がある区域を示しています。
※これまで県が公表していた「水害リスク情報図」について、令和6年5月28日に洪水浸水想定区域に指定されています。



▲重ねるハザードマップ(国土交通省)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

土砂災害警戒区域とは土砂災害の危険性がある区域で、危険性の周知や避難体制の整備などの対策を行う地域です。特別警戒区域は土砂災害警戒区域の中でも土砂災害が発生した際に建築物に損傷が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。
鳩山町では、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律、「土砂災害防止法」に基づき、埼玉県により指定されています。



▲土砂災害警戒区域・特別警戒区域

※令和8年6月1日現在で、指定は24箇所です。

耳で聴くハザードマップ

埼玉県では、視覚障害のある方や小さな文字が見えにくい高齢の方などが平時から災害のリスク等を認識し、早めの避難につなげていただけるよう、スマホで聴ける耳で聴くハザードマップを導入しました。
このハザードマップでは、自宅等の災害リスクを音声読み上げで確認できたり、最寄りの避難場所まで音声や振動で誘導したり、警報や注意報、避難情報を音声で確認することができます。詳しい利用方法等は埼玉県のホームページをご覧ください。



▲耳で聴くハザードマップ(埼玉県)

特集

風水害(洪水・土砂災害)に備える

自分の命を自分で守るために

近年、豪雨や台風による風水害が全国で多発しています。自分や家族の命を守るために、日頃から災害に備えておくことや、いざというときの行動を確認することが大切です。
鳩山町では令和4年7月の大雨により、住宅の浸水や土砂崩れなど多くの被害が発生しました。町ではハザードマップを作成するほか、安全な場所から河川の状態を確認できる河川・道路ライブカメラを設置しました。また、企業などと協定を結び災害時の安定した物資供給や情報の収集が可能になるように努めています。そして、令和8年度には逆川に架かる橋りよの修繕や防災重点農業用ため池であるところく沼の防災事業を実施する予定です。
災害時、自分や家族の命を守るためには、一人ひとりの備え(自助)と、地域やコミュニティで助け合う(共助)が大切です。災害の多い季節の前にハザードマップで自宅や職場の危険度を調べる、避難の方法や場所等を確認する、非常持ち出し品の点検や足りない物品を準備するなど今すぐできる備えは数多くあります。
今月の特集では、洪水や土砂災害の備えとして、知っておきたい情報や、避難行動のポイント、「マイ・タイムライン」の作成シートなどを掲載しています。自分自身や大切な人の命を守るため、この機会に防災について考えてみませんか？

■令和4年7月の大雨による主な町の被害状況

項目	件数等	主な内容
人的被害	1人	軽傷
住家	床上浸水	37件 赤沼、石坂、大橋地区など
	床下浸水	31件 赤沼、石坂、熊井地区など
土砂災害・土砂流出	宅地	15件 石坂、大橋、須江地区など
	その他(宅地、道路以外)	8件 赤沼、石坂、竹本地区など
道路	土砂崩れ	32か所 泉井、高野倉、熊井地区など
	路肩崩落	9か所 赤沼、楓ヶ丘、高野倉地区など
	道路損壊等	36か所 赤沼、石坂、須江地区など
	倒木	2か所 赤沼、大橋地区
河川・水路	15か所	鳩川(人道橋1橋落橋)、大橋川(河川区域法面崩れ2か所等)、内川(管理用道路舗装損傷等2か所)など
農業施設被害	多数	赤沼大沼(法面崩落)、逆川沼水路(柵架破損)、菱沼(法面崩落等)、新沼(法面崩落等)、大豆戸新沼水路(法面崩落等)、赤貴沼(洪水吐付近法面崩落)など
その他、ブロック塀倒壊など発生		



▲人道橋落橋(大橋川)



▲楓ヶ丘地区の路肩・法面崩落、側溝・ガードレール損壊・電柱・カーブミラー損壊

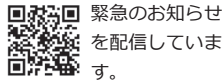
3 マイ・タイムラインを作ろう

マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)です。台風等の接近による大雨によって、河川の水位が上昇するときに、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。

ハザードマップなどを用いて、自宅の災害リスク、避難の方法やタイミングを家族と一緒に話し合い、マイ・タイムラインを作成してみましょう。

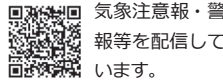
作成するときは、広報4月号に掲載した、新しい防災気象情報(令和8年度5月29日(金)から運用開始)を意識してみましょう。防災気象情報が変わっても、避難が必要となるタイミングや行動は変わりませんが、「レベル4大雨危険警報」のように「レベル+名称」の形で発表されるようになりました。

鳩山町ホームページ



緊急のお知らせを配信しています。

気象庁(キキクル)



気象注意報・警報等を配信しています。

警戒レベル1 早期注意情報

災害への心構えを高める

警戒レベル2 大雨・土砂災害・氾濫・高潮注意情報

自らの避難行動を確認する

警戒レベル3 高齢者等避難

危険な場所から高齢者や避難に時間のかかる人は避難を開始する

警戒レベル4 避難指示

危険な場所から全員避難

レベル4までに必ず避難!

警戒レベル5 緊急安全確保

命の危険 直ちに安全確保!

※必ずしも警戒レベル5が発令されるわけではありません、警戒レベル4までに必ず避難を行ってください

わが家の情報

●自宅は洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域等に入っていますか?

入っている 入っていない

●自宅の浸水の深さは_____mです

●家族や近所で避難に時間がかかる人はいますか?
 お年寄り 乳幼児 妊婦 障がい者
 病気の人

避難場所等の確認

●わたしの避難場所は_____です

●避難方法は
 徒歩 車

●避難にかかる時間は_____です

●避難を始めるタイミングは_____です

●避難を始めるときには
 戸締り、ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る
 動きやすい服装に着替える(運動靴等を履く)
 近所の高齢者に声をかける

●避難が完了できなかった場合は、建物の二階等に避難(垂直避難)し、命を守る行動を取りましょう

2 災害の情報を集めよう

災害時に自分を守るために大事なのが情報です。町や国、県、企業から多くの情報が発信されているので、いち早く情報を集め、避難行動の判断材料等に活用ください。



河川・道路ライブカメラ

水害への備えとして、町内の3か所に「河川・道路ライブカメラ」を設置し、その画像を公開しています。(右記画像) PC・スマホで24時間常に確認※できます。映像は3分に1回の間隔で画像を更新する方式で配信しています。

自宅だけでなく離れた地域にいるときにも台風などによる河川増水時に水位が安全に観察できます。

映像は、AIにより車両のナンバーや人物等に対して画像処理を施してプライバシーに配慮しています。

※機器メンテナンスや防災上の都合により映像がご覧いただけない場合があります。

※国や県でも同様の取り組みがあります。



▲河川・道路ライブカメラ (鳩山町)



▲荒川上流河川事務所ライブカメラ (越辺川)



▲埼玉県川の防災情報 (鳩川)

Yahoo! 防災速報

鳩山町では、令和2年10月14日にLINE ヤフー株式会社と締結した「災害に係る情報発信等に関する協定」に基づき、同社から提供されている「Yahoo! 防災速報」を活用し、「自治体からの防災情報」を配信しています。

災害が発生するおそれがある場合や災害発生時に、避難所の開設情報や注意喚起の情報を配信する予定です。ご活用ください。

1 アプリをダウンロード

・右記二次元コードよりアプリをダウンロード



2 初期設定を行う

・プッシュ通知の許可
・現在地運動通知機能の設定
・通知を受け取る地域の設定

防災無線フォロー電話・防災情報メール配信サービス

防災行政無線放送が「聞こえなかった」「聞きそびれた」「放送内容を確認したい」といった方のために、放送内容を電話で確認できる「フォロー電話」と、登録者にメールでお届けする「防災情報メール」配信サービスを行っております。ぜひご利用、ご登録ください。

防災無線フォロー電話

☎ 0800-800-0799 (フリーアクセス)

※携帯電話、IP電話からはご利用できません。

※携帯電話等から確認する場合は、☎ 049-296-2573 (有料) をご利用ください。

※放送直後は、アクセスが集中し、電話が繋がらない場合があります。話し中の場合は、時間をおいてからおかけ直してください。

防災情報メール配信サービス

■ t-hatoyama@sg-p.jp

1 上記メールアドレスに空メールを送信

・t-hatoyama@sg-p.jpからのメールが受信できるよう、ドメイン設定をお願いします。

2 届いたメールのURLから利用登録

・利用規約への同意
・配信カテゴリの設定(防災、広報、消防、町民サービス、お知らせから受信したいカテゴリを選択)

■問合せ 役場総務課 ☎ 296-1214